

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	障害児施設入浴サービス事業			事業番号	011-289
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害福祉サービス課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	
		有	取組の方向性	④障害のある子どもと家庭への支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2	
		有	取組	障害者児及びその家族に対する支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
無	現状値	—	目標値	—				

2	関連計画				
3	事業開始年度	平成 17 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市障害児施設入浴サービス事業実施要綱			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市内に住所を有し、特別支援学校の中学部若しくは中学校に通学している者又はこれらを卒業した者のうち、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者であつて、かつ、身体障害者手帳または療育手帳を交付されている者。
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	自宅での入浴が困難な障害児を施設で入浴させることにより、当該障害児及びその家族の福祉の向上や、障害児の身体の清潔の維持・心身機能の維持を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	体格も大きく保護者の介助が困難な12歳以上18歳未満の障害児に施設にて入浴の機会を提供する。 (利用は1週間当たり2回とし、月10回を限度としている。)
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	社会福祉法人サライ福祉会、生活協同組合エスコープ大阪等
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標	点検年度	
	サービス提供者数	人	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度		
			目標値	—	—	—	—	
			実績値	103	90			
達成率	—	—						
	当該指標を選定した理由	事業の全体量を把握するのに最適な指標のため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	延べ利用者数（目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。）						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標			
	利用回数	回	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
			目標値	—	—	—		
			実績値	632	566			
達成率	—	—						
	当該指標を選定した理由	事業の全体量を把握するのに最適な指標のため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	延べ利用回数（目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。）						

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	障害児施設入浴サービス事業	事業番号	011-289
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	6,428	5,181	5,802	4,554	4,194
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	317	246	233	232
一般財源	6,111	4,935	5,569	4,322	4,027
14 人件費 (b)	1,980	1,620	1,640	1,640	1,640
15 年間経費(c)=(a)+(b)	8,408	6,801	7,442	6,194	5,834

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源	
		事業費	うち一般財源				事業費	うち一般財源		
16 事業費内訳	障害児施設入浴サービス事業委託料	R2	決算	4,554	4,322		R2	決算		
		R3	予算	4,194	4,027		R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 利用回数	回	632	566
② 上記①にかかる年間経費	千円	5,181	4,786
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	8,198	8,456
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 本事業は、自宅での入浴が困難な障害児について、施設での入浴の機会を提供するものであり、障害児の身体の清潔の維持や心身機能の維持等を図るためには必要不可欠なものである。単位当たりの経費については前年度から増えているが、障害児の身体の清潔の維持・心身機能の維持等に繋がっていることを考慮すると妥当であると考えている。令和2年度は、障害児通所支援事業所でもサービスが提供されるようになったことや、コロナウイルス感染症の影響のための利用控えもあり全体の支援件数が減少している。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 本事業は、体格も大きく保護者の介助が難しく、自宅での入浴が困難な障害児に、身体の清潔の維持や心身機能の維持、当該障害者及びその家族の福祉の向上を図るため、施設での入浴の機会を提供するものであり、障害のある子どもと家庭への支援に寄与している。